

加子母・付知地区女性懇談会 会議録

開催日時	平成22年11月9日(火) 15時00分 ~ 16時55分
開催場所	加子母公民館「多目的ホール」
出席者	市民：42人 行政：大山市長、安彦付知総合事務所長、細川加子母総合事務所長、林地域振興局長、熊崎付知企画振興課長、斉藤広報広聴課長

■司会者等あいさつの概要

- ・皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中をお越しいただいてありがとうございます。また市役所からも大山市長様をはじめ大勢の職員の方に出席いただきましてありがとうございます。
- ・今回女性懇談会開催にあたりましては、各地区において様々な話し合いがなされてきました。年に一度のこの貴重な機会に女性として母としてまた、主婦としての視点から捉えた経験などを発表していただくわけですが、市から頂く回答を各地区に持ち帰り、話し合いの場を持っていただき、次の世代へ市政への関心の目を伝えるいい機会になると思います。
- ・私は本日の司会・進行を務めさせていただく●●●●と申します。
- ・副司会を務めさせていただく●●●●と申します。よろしくお願いします。

■市長あいさつ

- 合併後5年が経過したところである。合併後10年で将来に向けた町・新しい市の形を作って行きたい。
- 折り返しも過ぎ、これから益々それぞれの地域が培ってきた伝統・行事等特色あることは、これからよりいっそう磨きをかけ、それに加えて新しい市としての一体感を作っていく取り組みをしていく必要がある。
- 女性の皆さん方の市への行政に向ける目、そういった観点からいろいろな意見を頂き、合併後10年というものを見て街づくりを進めていくことが大事だと思う。今日は様々な話し合いをして準備していただいた。この時間を活用して率直なご意見、ご要望をお寄せいただきたい。
- 市政報告という点では、懇談会資料「中津川市の今 ~今お伝えしたいこと!~」のトピックスで、市が重点的に進めている施策として、人口の減少を食い止めるための重点施策をあげている。これは、「産業の振興」「住宅の整備」「子育て支援」の3点セットに加え、「教育」「医療」「交通」「情報」の4つの施策を充実することで、これを重点的に取り組んでいる。どうしても産業が活発に展開されて所得がある必要がある。住む所としてのUターン・Iターン住宅の整備、子供が生まれての子育て支援が一番大事だということの3点セットと、子供が生まれてからの教育、医療(特に医療は大事)、交通、情報の4つの施策ということで重点的に進めている。
- UIターンでは住宅の整備については、加子母地区でも進めていますが、入居希望者が少ない。住宅を整備する前に、産業の振興や就職先を考える必要がある。
- 互助交通の実現に向けてということで、加子母・付知地区の高校バス通学が重い負担となっている。バス通学費用の助成についても連絡協議会の方と一緒に取り組んでいる。
- 懇談の時間や質疑の時間を長くとりたいので、私からの説明は以上にさせていただきます。よろしくお願いします。

■市執行部自己紹介

安彦総合事務所長、細川加子母総合事務所長、林地域振興局長、熊崎付知企画振興課長
 斉藤広報広聴課長

■懇談内容

発言者	発言要旨	対応者	対応(回答)の内容
(加子母) ささゆり会 ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・要望というよりは今後、広報やホームページなどで伝える事を希望する。 ・市民病院を中津川市の中核病院として存続して欲しい。 ・高齢者の方にはかけこみ寺的な病院として近くの病院も必要であるが、検査や手術になると下呂病院や坂下病院、中津川市民病院の存在が大きい。 ・それぞれの病院が存続して大きな施設をきちんと生かしていけるように、今ある診療科の充実と、その病院にはない診療科は別の病院でというような連携で充実していけば、患者も安心でき病院の発展にもつながる。 ・市民も要求ばかりしないで自分の健康について考えて気を付けながら、よい環境作りに目を向けることも大 	市長	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会資料P15～16参照 ・市民病院の役割は、公的医療機関として高度機械を準備して、機械を使いこなせるスタッフとしての専門医を配置し高度医療を提供する事。 ・人口の少ない地域では開業医が仕事をしようとしても患者が少ないと成り立たない。そうした時は税金のバックアップの中で診療所という形で行っていく必要がある。(地域医療) ・高度医療と地域医療のバランスをとって提供するのが市役所の役割だと思う。 ・患者の多い市街地で高度医療の必要でない場合には開業医(かかりつけ医)に担ってもらうのも一つの考えだと思う。 ・高度医療という所では市民病院は役割を果たしている。 ・東濃地方の二次医療圏は、中津川市と恵那市(東濃東部)は一つの圏域になっていて、その中核病院が市民病院となっている。 ・市民病院は恵那市の二次医療としての高度医療の支えとなっている。 ・産科医不足(中津川市・恵那市で4人)は課題。 ・二次医療圏としての中核病院である市民病院ということで、かかりつけ医や診療所では出来ないことをしている。市民病院でも出来ないことは県立多治見病院(東濃の三次医療圏)、名古屋大学病院の方に繋がっている。 ・医師不足は全国的な課題。中津川市でも産科・内科が特に不足している。市の対策としては、医師の負担軽減、大学病院に派遣依頼、医師を育てるための奨学金制度(将来市民病院で働くという条件付)、医師が働

	<p>事なことだと思 う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の父親が20年前から市民病院でお世話になっているが病院は広くて入院病棟の景色もよく、医師も親切で父親も元気付けられている。 ・市内の病院の中核にある方向性をお願いし、市内の病院と連携を取りながら、今ある施設を利用して、よい病院として存続出来るように課題等があれば広報等で知らせて欲しい。 ・市と病院の抱えている現状を見つめて私たちも賢い患者になって病院の発展につながっていくよう努力したい。 		<p>き続けるための環境づくりを講じている。医師の負担軽減という面では内科の医師が減ったので内科だけ初診外来は開業医（かかりつけ医）で受診し、その後市民病院を紹介してもらうよう協力をお願いしている。この4月からは時間外の初診の対応もかかりつけ医をお願いしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民も病気について勉強というありがたい話もあったが、市としても体制作りのために、市民と協力し呼びかけながらお願いすることが市民病院を長続きさせるためには大事なこと。 ・坂下病院を地域医療を支える拠点病院にすることも大切。 ・医師・看護師確保対策事業として奨学金・支度金・準備金の貸付などを予算化している。経営問題（赤字）もあるが、お金の問題ではなく、医師が大学病院から派遣してもらえるかなど医師の確保が一番の課題。市民の方に協力してもらいながら協働でやっていきたい。
<p>(付 知) レディス サークル ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・付知地域では地域振興補助金を頂き花街道で5月「森林の市」・10月「レディースクラフトフェア」など物作りでの人との交流、地域のPR活動をしている。 ・伝統文化の保全・レディスサークル活動などの地域に密着した活動を運営し頑張っている事業に市の補助金の継続をお願いしたい。 	<p>市 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興補助金の中で、婦人会活動の助成は婦人会がある所が少なく、特色ある活動になっている。どういう位置付けにしたらいいかは即答できない。 ・社会崩壊の時代に、みんなで力を合わせて一つの事をやることは大事だと思う。 ・祭りなど人と人との繋がり、地域に特色ある活動をする事によって地域の一体感など、みんなで取組む気風が育っていく。 ・公約に地域の活動を支援するということをあげている。地域の活動は幅広いので、婦人会の位置付けをここでは言えない。特色ある取り組みを続けることは意義として高いと思う。区長会等組織との関連もあり整理したい。 ・地域振興特別予算については引続き取組むが婦人会活動の位置付けは可能か？コミュニティーの形成という形の中になるかもし

			れないが、意義はよく理解しているので、検討させて頂きたい。
(付知) レディス サークル ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那北高校が無くなり遠距離となる高校通学者への助成は具体的にこれからどうなるのか教えて欲しい。 	市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校授業料の無料化になっても通学費用の問題は消し去られない。 ・ 高校通学は義務教育的になっている。義務教育的になっている行政サービスに不公平があつていいのか？という観点から費用の助成を考えている。 ・ 高校の授業料無料化は都会の人たちも同じ恩恵を受けている。中山間地の悲哀であるが、通学バス代がかさむ不公平感は消し去られない。 ・ 同じサービスを同じような負担で受けるようにするために、遠距離通学の費用の助成を考える。 ・ 不公平がどのくらいあるのか？（具体的な話になる）県下の平均的な通学費用はどれくらいかを調べ、それを上回る部分が不公平の基になっていると考え、どのくらい助成するかをこれから検討する。 ・ 加子母・付知で考えると加子母の方が通学費用がかかるので、平均的な部分より上回る部分が大きくなる。（付知はどうか？福岡は？）調べる必要がある。 ・ 市外へ選択して遠くへ行っているような場合は、平均的な助成をする（中津川駅まで行く部分を対象）0円にするつもりはない。 ・ 時間がかかるのは仕方がないが、金銭面での不公平感を是正、中山間地域としての負担感を減らす。 ・ 具体的なところは予算編成に向けて取り組みをしていく。連絡協議会との打ち合わせの中で決定していきたい。
(加子母) ささゆり会 ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加子母地区でも高校通学のバス代が問題になっている。 ・ 連絡協議会を立ち上げて具体策を検討しているということで嬉しく思う。 ・ どのような対策になっているのか具体的に分かっている内容を教えて欲しい。 		
(付 知) レディス サークル ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜明け前スタジアムについて、息子が高校に入ってから利用することができ喜んでいる。 ・ 収支については、1割が収入で9割が支出ということで赤字になり税金 	市 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週5日以上申し込みがあるが、芝生の管理もあり5日が限度で抽選であたりにくくなっている。（高嶺の花にしているわけではない） ・ 行事によって、夜明け前スタジアム・苗木球場・付知の野球場など使い分け整理すれば抽選にあたりやすくなるかもしれない。 ・ 現状の課題を検証し方向性を定めていきたい

	<p>で補っていると思うが、少しでも多くの市民が気軽に使用できるように、野球だけでなくイベントや軽スポーツなど体力づくりの面からも高嶺の花ではなく、市民がいろいろなことに使えるようにしてもらいたい。</p>		<p>い。</p>
<p>(加子母) 若妻グループ ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・加子母保育園では合併前はほとんどが20年以上勤務した加子母出身の保育士で加子母独自の行事や遊びを子供たちは体験することができた。 ・合併後加子母以外の保育士の人事があったが、以前と変わらない保育をしてもらっている。(加子母出身の保育士がいいという声は減った) ・問題点は保育士の在任期間が短い事。子どもたちがなついた頃に転任してしまい、残念。地域性を理解し、子どもたちを知り、気長に見てもらいたい。人事異動について配慮をお願いしたい。 ・親が家庭で教えなければならぬ事と子どもたちが家庭の外で教わるべきことはたくさんある。それには保 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前、保育園は市の健康福祉部、幼稚園は教育委員会が管轄だったが、今は教育的な観点から教育委員会の幼児教育課が保育園と幼稚園を一つの目で見るという形に変わった。 ・学童保育についても教育委員会事務局へ移管し、子の育ちを一貫して見てもらっている。 ・加子母らしい、加子母ならではの取り組みを担う保育士の勤務の入れ替わりのあり方については一概には言えない。加子母の特色を理解しながら保育するのは大事だと思う。加子母でずっと勤務している保育士と加子母以外から転勤してきた保育士の加子母らしさの取り組みがどうできるのか？については保護者の感覚と保育士の感覚などいろいろと話を聞きながらやっていく必要がある。又加子母以外の地域の話聞いて調べて検討したい。 ・合併当時に「加子母の教育」という所で、他の地域よりも強い思い入れがあったことを認識している。幼児教育課を中心にして、教育委員会とやり取りをして検討していきたい。 ・地域における子供の成長を家庭と学校を支援する立場で地域が関わっていくこともやっていきたい。 ・地域で子供を育てる（祭り、イベント、行事、子供会など）特色ある取り組みを実現してほしい。 ・強制ではないが、今各地域へ呼びかけているPTCA（コミュニティのC）を教育委

	<p>育園が深く関わってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の地域でも同じ意見があるのなら、課題の一つとして検討をお願いしたい。 		<p>員会へ依頼している。</p>
<p>(付知) 主任児童委員 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央橋について ・今総合事務所が移転工事中だが、たくさんの方が施設が集約されて利用者も多くなってくるのに、道幅が狭く歩道もない為危険である。 ・橋の耐久性も問題になっているので検討をお願いしたい。 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央橋の問題は付知地区の最後に残された大きな課題として認識しているが、交通量はあまり多くない。 ・総合事務所、公民館、アートピア、福祉施設が集中するので中央橋の存在は大きい。 ・市政懇談会でも話は出た。必要性は十分理解しているが、いつどうするのか？費用はどれくらいかかるのか？幅はどれくらいなのか？など検討し事業の計画の中に組み込む。(前向きに捉えなければならない課題) ・田瀬橋で3億弱なので、中央橋は川幅から言って倍以上になる。 ・付知に残された大きな課題で、合併特例債(平成26年まで)が活用できる範囲の中に計画を組み立てていくことが大事なことだと思う。今はどういう風にしていくかを詰める段階にある。
<p>(付知) 主任児童委員 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同報無線について ・広報や回覧など情報提供はたくさんあるが、高齢者も含め地域の方が安心していろいろ利用しているので無くさないで欲しい 	<p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報無線は耐用年数が来ている。新しいものにしようすると電波の割当てが8市町村あったものが1市になって割当てが1つになることになる。いろいろな緊急通報や地域の情報を伝える手段は大事だが、更新するにあたって電波がとれるかは難しい。 ・光ファイバーや地デジ放送(ぎふチャン)に市の枠を確保することも出来る。又メール配信の充実やメール配信の中で緊急時にサイレンを鳴らすことによって何かあったからメールを見る等。身近なアクセス手段で情報を取得する。 ・懇談会資料P28参照 ・地デジテレビが個別受信機の役割。(ぎふチャンを見ると情報を確認できる) ・モーターサイレンを聞いてアクセスする。 ・地域情報も地デジに地域情報コーナーを設けることを考えている。岐阜放送に使用料を支払わなければならないが、今の個別受

			信機を更新するよりもいいのではないか。
(加子母) 若妻サークル ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種について ・子宮頸がんヒブワクチン接種の助成はいつから、どれくらいなのか分かる範囲で説明をお願いしたい。 ・インフルエンザについても今は助成がないが、子供は2回接種する必要がある負担する費用が大きい。子供たちの健康を守るために毎年予防接種を受けるインフルエンザにも助成をお願いしたい。 	市長	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども手当の中に医療費の占める部分があるのかを厚生労働省の方に質問したが、明確な答えはかえってこなかった。 ・子ども手当の中には子どもの時期に必要なとする教育費などが含まれるわけだが、内訳の中には医療費があるのではと考える。しかし、そこは示されていない。 ・中学生までの医療費無料化とのかかわりも関心がある。 ・子宮頸がんやヒブワクチンの助成についての声が上がっていることは承知している。 ・国で子宮頸がんワクチンの助成をする方向もあるので、様子を見ながら市としての助成をどうするかを国の予算編成と市の予算編成と連動する形で考えていきたい。今はどうするかは言えないが前向きに取り組むことを9月議会で答弁した。予算については1月末にかけて取り組みを検討し、23年度当初予算から考えている。 ・インフルエンザについても議論があることは承知しているが、インフルエンザとヒブワクチンを比べた時にヒブワクチンの方が後遺症としての重篤性が高いので、まずは子宮頸がん、ヒブワクチンの助成に前向きに取り組むがインフルエンザについても今後の課題だと思っている。
(付知) 更生保護女性会 ●●さん	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートについて ・サポート会員をしているが、利用者から連休や土日の休みに急に利用したい時ほどこへ連絡すればいいのかわからないと言われる。 ・美容院や銀行へいくのに利用するのはダメと言われるが、一人暮らしで家族がいない方の利用をお願いした 	市長	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート会員としてのサービスを提供されている取り組みに感謝。 ・ファミリーサポートセンターの趣旨は、勤労者の家族（高齢者や障害者）をサポートする。その中でいろいろな制約がある。 ・懇談会資料P18参照 ・互助交通の方で「新ファミリーサポートセンター（仮称）」とある。「新」になっているのは利用者が勤労者に限らない形で広く組み立てようとしている。移動が必要になる項目については受け入れを考えて、利用目的も広くする。医療に限らず勤労者以外の方にも活用していただき、運転免許のない方の移動の手助けとして活用してもらいたい。（22年度から試験的に始めるがまだ

	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付き添いで行く時に家族と一緒に乗っていくと「タクシー代わりに使わないで下さい」と言われたてびっくりした。家族の方も一緒に行って先生の話など聞きたいのでおかしいのではないか。 ・病院等の駐車場で事故などがあった時は、個人で話すのかサポートセンターで話すのか？ ・今は厳しすぎるので、是非新サポートセンターをつくらせていただきたい。 		<p>実行できていない)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当は市役所の情報交通課が取り組みをしている。(高校バス通学費用助成についても同じ) ・高校生のバス通学助成以外にも高校生のサービスも将来的にできればと考えている。 ・事故については保険で、配車記録や業務内容の整理が必要。個人の責任ではないと思いますが、休日の連絡先も合わせて調べたから回答を田口さんに届くようにします。 ・役所仕事、杓子定規になっている。規則はそうかもしれないが市民の利便を増すように規則を解釈していく観点を入れていきたい。
<p>(加子母) ささゆり会 ●●さん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬場について ・今の火葬場が使えなくなったらどうなるか？ ・火葬場建設の現状はどうなっているのか？ ・火葬場を建設するにあたり場所がどこになるのかははっきりしないが、要望として旧市内に建てられると加子母は3時間かかる。(往復時間と火葬を合わせて) ・今は地域性のあるいい葬儀が来ている ・是非旧恵北地区加子母以外なら田瀬あたりをお願い 	<p>加子母総合事務所 細川所長</p> <p>市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・21年度火葬場使用実績は、付知98件、加子母55件の計153件。 ・22年度10月末現在は、加子母28件、付知56件となっている。 ・加子母の火葬場は現在使用できない。煙道に大きなヒビが入り修理中で、又レンガも落ちている状態(修復可能)更にスイッチを入れる部屋に煙が漏れる状態である。 ・付知の火葬場は昨年修理してある。今は加子母の方は付知を利用できるようになっている。 ・旧中津川市の火葬場もかなり古くなっているので新しい火葬場を建設する必要がある。 ・どこに建てるのかは検討委員会を設置して(市会議員も含む)市民レベルで検討している。当初年度内を目指して進めていたが、担当部署である生活環境部がミックス事業も担当していて、2つ同時に手が回らない。1つをしっかりと軌道に乗せた上で次の課題に取り組んでいきたい。検討委員会の結

	<p>したい。それならば時間的に許せる。</p>		<p>論も先送りの状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所についても検討委員会に委ねているが、加子母から3時間かかるということは課題。今検討委員会で検討しているのは1箇所と聞いている。 ・検討委員会にこのような課題を伝えておきます。
--	--------------------------	--	--

■市長総括

- ・今日は熱心な協議をして頂きありがとうございました。
- ・事前に議論し準備しまとめたものを要望等にして頂きやり取りしましたが、皆さんの取り組みの様子など前向きに熱心にして頂いたことはありがたく感じました。
- ・女性懇談会に懸ける参加意欲や熱意も感じました。その熱意を受け止め今後の市政に生かしていきたい。
- ・質問の中には後日調べて回答というものや検討するという回答もありました。市役所の行政管理課で進捗度合をチェックするなど、言いつばなし、聞きつばなしにしない形で、女性の観点から市政に対する意見・要望等をしっかりと報告する形で取り組んでいきたいと思う。
- ・加子母・付知それぞれ歴史ある地域で、自然豊かな地域でもあります。これからもそれぞれいい所を保ち、合併した中津川市全体として一体感を形作るように皆様方のお力添えを頂きながら新市を作って行きたいと思う。
- ・今日は熱心な討議を頂いたことにお礼申し上げまして終わりの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

■閉会（副司会）

閉会のあいさつ

- ・本日はご参加頂きました皆様におかれましては大変ご苦勞様でした。
- ・大山市長様をはじめ、市当局の皆様には女性の視点で市政に対する意見を述べる機会を設けて頂いたことに感謝しています。
- ・自分たちの地域を住みよい所にしていくために、いろいろ意見させて頂きました。共に考え協力し合える住みよい街でありますように市政に反映して頂くことを希望します。
- ・これをもちまして懇談会を終了させていただきます。大変お忙しい中、長時間にわたりご苦勞様でした。